



おまち~

Vol.
148

2025. 5. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課企画推進係



新たに建設された伊勢崎市の保健センター



新たな交流施設が誕生します！

- 【伊勢崎市】中心市街地に新たな健康・子育て支援の拠点が誕生！
- 【桐生市】新庁舎業務開始・教育センター供用開始
- 【太田市】公共施設の集約による効率化と賑わいの創出

複合施設「エアリスベース」OPEN

【投稿】第6回前橋市アーバンデザインシンポジウム

～シビックプライドを育むまちづくり～

- 【マーチィ'sROOM】 ●マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
●マーチィの掲示板 県・市町村人事交流職員研修を終えて
●マーチィの独り言

【まちづくりイベント情報】 ●県内で行われるイベントの紹介



伊勢崎市中心市街地に新たな健康・子育て支援の拠点が誕生！

伊勢崎市 健康推進部 保健センター



伊勢崎市保健センターの外観。健康づくりと子育て支援の拠点として市民に開かれた施設です。

■ はじめに

伊勢崎市では、都市計画の一環として市民の健康づくりと子育て支援を強化するため、新たに「伊勢崎市保健センター(くわまるプラザ)」を整備しました。本事業はこれまで市内に分散していた4つの保健センターを統合し、より効率的で質の高いサービスを提供することを目的として実施されました。また、中心市街地の活性化を促し、持続可能な都市構造の形成に寄与することも期待されています。

令和7年4月に本施設が供用開始され、現在、市民の皆様幅広く利用されています。健康づくりと子育て支援の拠点として多くの市民が訪れ、地域の生活を支える拠点となっています。

■ 施設の概要

本施設は鉄骨造3階建て、延床面積約3,900㎡の規模で整備されました。保健センター機能と子育て支援機能を融合し、市民の健康増進と子育て支援を総合的にサポートする拠点となっています。

【保健センター機能】

- ー乳幼児健診、成人健診、健康相談の実施
- ー健診室、計測室、保健指導室等を整備

【健康づくり機能】

- ー市民向けの健康イベントの開催
- ー生活習慣病予防を目的とした個別指導等の実施
- ー窓口健康相談の実施



乳幼児健診が行われる乳幼児健診エリア。



【子育てを支援する様々な機能】

- －妊娠期から子育て期までの一貫した支援体制を構築
- －プレイルームや一時預かりスペースの設置
- －プライバシーに配慮した子育て相談室を整備
- －地域の子育て情報を提供するコーナーも整備

【防災拠点としての機能】

- －災害時の指定福祉避難所として活用
- －自家発電設備を導入し、停電時にも保健師の活動支援拠点となる



子どもたちがのびのび遊べるプレイルーム。
親子で安心して過ごせる空間を提供しています。

■ 都市計画・まちづくりの視点

この施設は、都市構造再編集集中支援事業を活用して進められました。市街地活性化を目的とした都市再生整備計画に基づき、以下の点が考慮されています。

【アクセスの向上】

- －市の中心部に位置し公共交通の利用がしやすい立地
- －駐車場の確保や歩行者動線を最適化し、来訪者の利便性に配慮
- －駐輪スペースを設計し、多様な移動手段で来所可能
- －施設周辺のバリアフリー化し、高齢者や障がい者にも優しい環境を提供

【持続可能な都市構造の推進】

- －環境負荷を低減する省エネルギー設備を導入
- －ユニバーサルデザインを採用し、誰もが利用しやすい施設を実現
- －再生可能エネルギーの活用により、施設運営の環境負荷を軽減



利用者に寄り添ったサポートを提供する受付・案内コーナー。健康相談や子育て情報の提供を行っています。

■ 市民への影響と期待される効果

本施設は年間約45,500人の利用を見込み、市民の健康増進と子育て支援に寄与しています。

【健康づくりの促進】

- －保健指導や健康相談の強化による生活習慣病の予防に貢献
- －質の高い健康情報の発信により、健康意識の向上、健康寿命の延伸を支援

【子育て環境の充実】

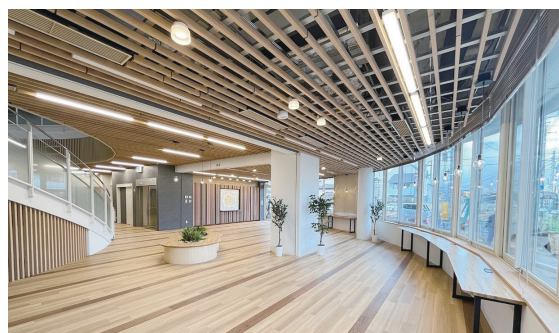
- －保護者が安心して子育てできる環境を提供
- －プレイルームや一時預かり事業により育児負担を軽減

■ おわりに

本事業は、伊勢崎市が掲げる「夢ふくらみ安心して暮らせる元気都市」の実現に向けた重要なステップのひとつとなります。伊勢崎市保健センター（くわまるプラザ）は、市民が安心して暮らし、健康で充実した日々を送るための拠点として大きな役割を果たしていきます。

施設開設から間もない現在、多くの市民の皆様にご利用いただいております。今後もサービスを通じて市民の皆様を支えていきたいと考えています。これからもより利便性の高い施設運営を目指し、市民の皆様にも愛される場として発展させてまいります。

新たな都市計画の実現と市民生活の向上に向けた取り組みを、これからも推進してまいります。



快適に過ごせる施設内の共有スペース。市民の皆様のリラックスや談話、学習などにご利用いただけます。





桐生市役所 新庁舎業務開始・教育センター供用開始

桐生市 総務課
教育委員会 総務課

● 桐生市役所 本庁舎

■ 新本庁舎建設の背景

桐生市役所旧本庁舎は昭和40年に本館と議事堂・昭和57年に新館を建設し、これまで桐生市の行政の中心として多くの市民の皆様にご利用いただき、親しまれてきました。しかし、震度6強以上の大規模地震が発生した場合に倒壊などの危険性が高いと診断され、庁舎の耐震化は避けて通ることができない喫緊の課題であり激甚化・頻発化する災害時の防災拠点としての整備も大変重要なことと考え、新本庁舎を整備しました。



桐生市本庁舎 外観



桐生市本庁舎 内観

■ 桐生らしい庁舎

令和6年11月に竣工した本庁舎は、繊維産業が盛んな「織都」桐生を象徴する「糸巻」のような形態が特徴的な六角型の庁舎です。「まゆ」をイメージした美喜仁桐生文化会館と対をなし、桐生のまちづくりの核を形成しています。

本庁舎の家具やサインには市内で生産された繊維生地を活用し、また、軒や内装・家具の随所には桐生市産のスギ材を採用しています。

■ 環境への配慮

吹き抜けを利用したエコボイドによる自然採光と自然換気が省エネ性能を高め、SDGsに貢献するとともに環境配慮型官庁施設として、ZEB ready※₁とCASBEE※₂の認証を取得しました。

■ 安全・安心

地震の揺れを最も抑えることのできる免震構造を採用し、大規模地震発生時にも防災拠点としての機能を維持します。また、電気室や非常用発電機室を最上階に設置することで、水害時の自立性を高めています。

■ 今後の予定

令和7年3月時点では旧本庁舎の解体工事が行われており、その後、新本庁舎のエントランス底設置工事・外構工事が2期工事として行われ、令和8年3月には全ての工事が竣工する予定です。

● 桐生市教育センター・桐生市教育支援センター

■ 整備の背景

桐生市役所新本庁舎の建設を契機に今まで分散していた教育委員会事務局や教育研究所、教育資料室等の既存教育施設を集約し、教職員研修機能や教育相談体制、不登校・生徒指導対策などの充実を図るため、旧桐生市立西中学校を活用して桐生市教育センターを整備しました。

■ 桐生市教育センター

新設した教育センターのエントランス外壁には桐生をイメージした織物の模様を施したほか、執務室や会議室など建物全体の内装は白を基調とした配色とすることで開放的な空間に仕上げました。

また、サインには国際基準を採用するとともに、英語表記を併記することで多文化共生に配慮した環境を整備しました。

■ 桐生市教育支援センター

教育センター敷地内に新設した教育支援センターは、学校に通うことが難しい児童生徒に対して学校生活や社会生活への復帰を支援するための施設です。

建物の内装や児童生徒が使用する机や椅子に市産材などをふんだんに活用することで、木の温もりを身近に感じ、落ち着いた生活を送れるような工夫をしました。また、建物正面に運動場や野菜などを栽培できる教材園を設置することで、児童生徒が楽しみながら学ぶことができる環境を整備しました。



桐生市教育センター



桐生市教育支援センター

※1 ZEB Ready…将来的にZEB(ゼロエネルギービル・建物内でのエネルギー自給自足)の取得を目指す建築物の段階で、省エネ性能の向上に力を入れた建築物。

※2 CASBEE(建築環境総合性能評価システム)…建築物の環境性能の評価・格付け制度。評価は「S」や「A」「B」「C」等とランク化されており、高いランクほど環境性能に優れた建築物として認証される。



公共施設の集約による効率化と賑わいの創出 複合施設「エアリスベース」OPEN

太田市 文化スポーツ部 エアリスベース

■ 施設の複合化の背景

昭和40～50年代に建設された公共施設は利用開始から40年以上が経過し、老朽化が著しく維持管理費の増大に加え、建て替えの検討も必要になってきています。太田市が所有する公共施設もこの年代に建てられたものが数多く存在し、今後、これらの施設の改修が同時期に集中することが懸念されるなど多大な費用を要することが予測されています。一方で財政面では、人口減少等による税収の伸び悩みや、少子高齢化社会の進展に伴う扶助費の増加などが懸念されます。

太田市では平成28年度に「太田市公共施設等総合管理計画」を策定し、この計画の中で『施設の統合や廃止を進め、市有施設の総量を市の人口減少に合わせ令和22年度(2040年度)までに10%縮減(平成26年度比)する』という目標を掲げています。

利用開始から40年余りが経過し、老朽化が進んだ新田図書館の建て替えに伴い隣接する保健センター及び近隣の商業施設内に配置されている行政窓口を複合化することにより、公共施設の集約による効率化を図ることとしました。



エアリスベース外観

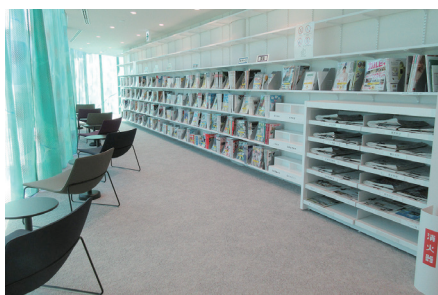
■ 地域の賑わいの創出

これまでの公共施設は単一的な機能を持つ施設が各地域に点在するように配置されており、その施設利用を目的とした利用者が来訪するだけで、地域の賑わいを創造させるような拠点的作用を担うことができないケースが多くありました。

公共施設の複合化により多様な市民の利用を誘発し、時間・曜日の変化による流動性のある活発な利用状況が期待されます。特に当該施設については周辺にすでに多様な公共施設が整備されているほか、大型商業施設等もあることから、施設相互の交流により今まで以上に魅力ある公共施設として集客効果を高め、持続的な賑わいを生み出すことが可能になります。

■ 施設概要

鉄骨造2階建て
延べ床面積 約4,000㎡
1階 西サービスセンター、
保健センター、
多目的室
(学習席・飲食スペース)
2階 図書館
屋上 屋上緑化(芝生)



新聞雑誌コーナー



漫画コーナー

新しい図書館の目玉として、漫画本1万5千冊をそろえました。子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々に楽しんでいただけたと思います。

■ おわりに

エアリスベースの竣工記念オープニングイベントが令和7年2月23日に開催されました。式典終了後、屋内外での各種イベント、キッチンカーの出店に加え、昨年6月にオープンした「エアリススケートパーク」においてもデモ滑走やコンテスト等が開催されたため、エアリスベース周辺は多くの人々で賑わいました。

今後も、太田市西地区の文化・スポーツの拠点として賑わいの創出を図っていきたいと考えています。



第6回前橋市アーバンデザインシンポジウム ～シビックプライドを育むまちづくり～

前橋市 市街地整備課

■ はじめに



会場は国指定重要文化財の臨江閣

令和元年に「前橋市アーバンデザイン」が策定されて以来、中心市街地では大小様々な事業が動き始め、令和6年3月には「馬場川通りアーバンデザインプロジェクト」の整備が完了しました。工事の竣工がゴールと見られがちですが、その先にある「まちづかい」を市民自ら実践することこそが「前橋市アーバンデザイン」の目指すところです。有識者の方から「シビックプライド」についてお話を頂き、前橋市におけるシビックプライドの醸成や「まちづかい」に対して「自分からまちで何かやってみよう」といった新たな発見や意識啓発を行うことを目的としたシンポジウムを令和7年2月26日に開催しました。

■ 取組紹介

本市の取組紹介として「前橋市アーバンデザイン」についての説明と実際に行われた、大小さまざまなまちづかいについて報告しました。次に、馬場川通りを良くする会実行委員の伊藤浩士(いとうひろし)様から「馬場川通りを起点とした整備後のまちづかい」をテーマにソフト面における「にぎわい」「整備・維持」「かかわりしろづくり」についてお話いただきました。

■ 基調講演

ご講演頂いたのは東京理科大学教授でありシビックプライド研究会代表の伊藤香織(いとうかおり)様です。タイトルは「まちの精神を引き継ぎ創造的に未来を拓く」。海外や全国の事例を挙げながら「シビックプライド」についてのお話や「まち」との関わり方についてご講演いただきました。講演後には小川市長からご講演の感想と、これからのまちづくりについてコメントを頂きました。



馬場川通りの取組紹介(伊藤浩士様)



基調講演の講師(伊藤香織様)



会場の様子(臨江閣別館2階大広間)

■ まちづかいワークショップ 【前橋のシビックプライドを考えよう】

シンポジウムの後半では一般社団法人前橋デザインコミッションが企画したワークショップが開催されました。「愛着」「誇り」「共感」といったキーワードを手掛かりに、対話を通じてそれぞれのシビックプライドについて探りました。最後に伊藤先生から講評を頂き、シンポジウムは閉会となりました。



ワークショップの様子

■ おわりに

今回のシンポジウム会場はテーマであるシビックプライドに合わせて、本市の誇りとなる国指定重要文化財の臨江閣で行いました。会場である大広間には、天井一面に深い格天井が広がっており、特別な雰囲気を醸し出しております。伝統的な書院造の雰囲気から、参加者には他とは一味違うシンポジウムを楽しんでいただけたと思います。またオンライン配信も併用して開催したことで、県内外の方約100名の方にご参加いただき、本市の現在の変化やこれからの期待について知って頂くことができました。本市の今後の動きやこれからのまちづくりについても注目して頂けますと幸いです。



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！
コミュニティデザインの現代史 まちづくりの仕事を巡る往復書簡 著 饗庭 伸、山崎 亮(学芸出版社)



今号の
おすすめ
ライブラリーは
こちら！



都市計画家として著名な饗庭伸さんとコミュニティデザイナーの山崎亮さんが「まちづくり」・「コミュニティデザイン」の歴史とその本質を、先駆者の方々へのインタビューを交えながら書簡のやり取りという独特のスタイルでまとめています。

本書では、1920年頃を起点として「まちづくり」・「コミュニティデザイン」の歴史を辿っていくものであり、登場人物やまちづくり事例が多く登場するため読み進めるのが難しそうな印象を持ちますが、手紙を読むような形で読み進めることが出来るという面白い体験を味わえます。

マーチィが読み進めるうえでは、知らない人物やまちづくり事例が多く登場し実感が湧かない部分もありましたが、頁をめくっていくうちに理解が深まる不思議な感覚を味わいました。

当初は公民館が地域におけるまちづくり拠点として整備されてきた(それを目指していた)という過去の経緯は、驚いたとともに、現状との乖離に少し寂しさを感じました。

まちづくりは「トレンド」があり、色々な流れが循環しているということを感じました。読み進めるうちに、日本全体のまちづくりの歴史だけでなくがまちの歴史を紐解いてみたい気持ちになりました。

学術書スタイルが苦手な方にもオススメの一冊ですので、是非、ライブラリーで手に取ってみてください！

マーチィの掲示板

県・市町村人事交流職員研修を終えて

西田 康朗(館林市→群馬県県土整備部都市計画課企画推進係)

令和5年度から二年間、短い期間になりますがお世話になりました。

私は、主に市町村まちづくり支援、官民連携まちづくり、都市再生整備計画関連事業、「おっ!!まっちい〜」の編集を主な業務として担当しておりました。

私が関わった令和5年度の「おっ!!まっちい〜」からマーチィ自ら取材に行くようになり、私も様々なまちづくり取材をさせていただきました。今でも初めて取材に行った「フェーズフリー協会」、「イケ・サンパーク」は記憶に残っています。(詳細は第137号をご覧ください)

自ら取材に行くようになったこと等を通して、県内・県外問わず、まちづくりに関わる情報収集をする癖が身についたのも、「おっ!!まっちい〜」があったからこそだと感じています。

この「おっ!!まっちい〜」は、群馬県のまちづくりをより良いものとしていくため、先進事例の紹介や、現在取り組まれているまちづくり事例の紹介を行ってきました。そのような思いが、少しでも、誌面から伝わっていると幸いです。

最後になりますが、常日頃からおっ!!まっちい〜の作成に当たり寄稿頂いている県内市町村の皆様、また取材に協力して頂いている皆様、本当にありがとうございました、この場を借りて御礼申し上げます。

善養寺 将大(吉岡町→群馬県県土整備部都市計画課都市計画係)

令和6年度の1年間、県都市計画課都市計画係でお世話になりました善養寺です。当初は新しい環境と経験したことのない業務に不安しかありませんでしたが、都市計画課の皆様や市町村担当者の皆様のおかげで、なんとか研修を終えることができました。ありがとうございました。

この1年間で一番時間をかけた業務としてはi-都市再生に関することです。実務研修に参加させていただき、GISソフトを使った都市構造可視化の手法や、全国の先進的な事例を知ることができました。また、群馬県における活用事例の作成や、i-都市交流会議に参加した際には様々な自治体の担当者と交流することができました。

1年間の県での研修をとおして、町の業務では学ぶことができないことを数多く経験させていただき、充実した時間を過ごすことができました。吉岡町に戻っても都市計画関係業務に携わることになりますので、学んだことを活かしていきたいと思います。今後もお力をお借りすることが多々あるかと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

マーチィの独り言



皆様に愛されてきた本誌『おっ!!まっちい〜』も、創刊から26年目の春を迎えました。令和7年度は、川上、黒須、塚越、高野、山本、田子、田邊、白井の8名で担当させていただきます。

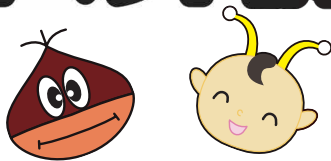
『おっ!!まっちい〜』では旬の情報を選びすぐ皆さまにお伝えしてきましたが、なんと次号より紙面デザインを大幅リニューアル！皆様により手に取りやすく作成いたします。

『おっ!!まっちい〜』では、掲載する記事やイベント情報を随時募集していますので、希望がありましたら、お気軽にご連絡ください。

それでは、今年度もよろしくお願いいたします☆



まちづくり イベント情報



草津温泉 和傘の舞

和をテーマにし、「和傘」を活用した照明オブジェの設置をします。期間中は常設となり、昼夜問わずお楽しみいただけます。

■5月16日(金)～6月1日(日)

■湯畑 湯路広場

【お問い合わせ先】

(一社)

草津温泉観光協会

TEL 0279-88-0800



湯畑キャンドル「夢の灯り」

約1,200個のクリアカップキャンドルを光泉寺山門下の階段に飾るイベントです。キャンドルの優しい灯りが美しく幻想的な光景をお楽しみいただけます。

■5月17日(土)、6月14日(土)、6月28日(土)、7月12日(土)

19:00～21:30

■湯畑まえ

光泉寺山門下の階段

【お問い合わせ先】

(一社)

草津温泉観光協会

TEL 0279-88-0800



げんきフェスタ2025

「みんなの笑顔 みんなで作ろう!」がテーマ。世代を超えて創り出す「まちなか文化祭」!

■5月25日(日)10:00～15:00

■お富ちゃん広場(富岡市富岡1041番地)他

まちなかポケットパークなど

【お問い合わせ先】

富岡げんき塾(入山)

TEL 0274-62-0149



第8回 富岡市国際交流まつり

各国のブースで色々な交流や体験が楽しめるおまつり。キッチンカーなどの飲食も。

■6月1日(日)11:00～15:00

■富岡市役所前

しるくるひろば

【お問い合わせ先】

富岡市国際交流協会

TEL 0274-62-8232



夏休みお楽しみ昆虫採集

自然の中でカブトムシやクワガタを採集できるイベント。対象は小学生以下のお子様に限らせていただき、夏休みのお子様にお楽しみいただけるイベントです。

■7月22日(火)

9:30～受付開始

10:00採集開始

■草津運動茶屋公園

道の駅前集合

【お問い合わせ先】

(一社)草津温泉観光協会

TEL 0279-88-0800



第79回草津温泉感謝祭

土用丑の日、丑の刻に入湯する事により、以後一年の無病息災を願ったという故事にちなみ開かれ、その後、温泉への感謝へと形を変えて現代に至っているイベントです。

■8月1日(金)～2日(土)

■湯畑等

【お問い合わせ先】

(一社)

草津温泉観光協会

TEL 0279-88-0800



伊香保ハワイアンフェスティバル

ハワイ王国独立時代の史跡が残り、現在は姉妹都市としてハワイとの深い交流を続ける伊香保ならではのイベントです。

■7月29日(火)～8月1日(金)

■メイン会場(渋川市営物産駐車場内)

街角会場(石段街中腰)

【お問い合わせ先】

一般社団法人

渋川伊香保温泉

観光協会

TEL 0279-72-3151



町制70周年記念 ラムサール条約登録10周年記念 芳ヶ平湿地群 自然観察会

ラムサール条約登録されてから10年となる「芳ヶ平湿地群」で自然観察会を実施します。

■8月3日(日)(予備日8月10日(日))10:00～(予定)

■チャップリン公園、渋峠

【お問い合わせ先】

中之条町役場

六合振興課

TEL 0279-95-3111



渋川山車まつり

「北関東一のあばれ山車」の異名を取る勇壮な祭りで、参加各町それぞれに人形を乗せ、見事な彫刻で飾られた山車が市街地を練り歩きます。

■8月8日(金)～10日(日)

14:00～22:00

■渋川市街地周辺

【お問い合わせ先】

渋川山車まつり

実行委員会

(渋川市役所観光課内)

TEL 0279-22-2873



林業や森の役割を知ろう。実践と体験を通した森の学校 プログラム(入門編)@中之条 対象:高校生～社会人

林家の方たちと一緒に山に入り、実際に林業の作業を体験します。その他にも、環境や林業が丸わりのプログラムを1,000円/人でご用意しています。

■8月10日(日)10:30～16:00(予定)

■中之条町木材活用センター

〒377-0542

群馬県吾妻郡中之条町

下沢渡964-1

【お問い合わせ先】

TEL 080-6287-9095

Mail: nakanojo.connect@gmail.com

gmail.com



森の面白さを知ろう。親子向け森の学校プログラム@ 中之条対象:小学1年生～6年生の親子

木材活用センターを拠点に自然や木材に触れる体験活動を行います。実際に山に入ったり、木工体験等を実施するプログラムを1,000円/組でご用意しています。

■8月11日(月・祝)10:30～16:00(予定)

■中之条町木材活用センター

〒377-0542

群馬県吾妻郡中之条町

下沢渡964-1

【お問い合わせ先】

TEL 080-6287-9095

Mail: nakanojo.connect@gmail.com

gmail.com



総合建設コンサルタント

株式会社 アイ・ディー・エー

I.D.A

コンストラクションマネジメント/インフラメンテナンス/都市計画・まちづくり/防災・減災事業/指定管理事業など、官民連携に関わる広範囲な事業展開



群馬県高崎市倉賀野町4221番地13
TEL 027-384-6600
FAX 027-384-6601
URL: https://www.ida-web.jp

官民連携事業でお困りの際は、
当社までお気軽にご相談ください。



県立公園アイ・ディー・エー群馬の森
指定管理者(令和6年度～)

.....おしらせ.....

次号より「おっ!!まっちい～」 デザイン大幅リニューアル!!



平成12年から発行しておりますこのまちづくり情報誌「おっ!!まっちい～」表紙等のデザインを、この度、より手に取りやすく、興味を持てただけように、県内学生の皆さんから募集しました。

次号より受賞作品にて紙面を大幅リニューアルします!お楽しみに★

※次号149号は【8月1日】発行予定です。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html

